

第7回私と町の物語 展覧会

町の縁をつくる縁台プロジェクト

会場：港区赤坂6-15-1 ミツビル1階
TEL：090-2430-8151 小山直行（赤坂第一商店会会長）

昔、町には人と人が出会うさまざまな生活のシステムがありました。しじみや朝顔売りなどが路地にやってきては住民が家から出て行って近所の人達と立ち話をする、御用聞きが朝やってきては夕方には野菜やお米を届ける。もちろん、銭湯も大事な人々の情報交換の場でした。しかし、現代ではそういった出会いの場が減っています。建物も制限いっぱい構造物が建ち、都心には人が溜まれるような余分なスペースはなかなかありません。この縁台プロジェクトはだんだんに町の中で減ってしまった人と人との出会いの場をカジュアルに創出するための仕掛けを「縁台」という形を通して探ってみようという試みです。今年は赤坂に縁台が出現します。

赤坂縁台

3月22日(土)ー3月30日(日) 午前10時ー午後5時
参加費：無料 (話が盛り上がり延長の可能性あり)

「赤坂縁台」はビルの中の、通路を生かした小さなスペース。壁には赤坂の今・昔の写真を展示したり、また、町の人々が持ち込む様々な情報——新しいビルができた、新しい店がオープンした、逃げた猫を探しています、などなどの赤坂の様々な情報が掲示されます。また、縁台では亭主、小山直行がお越しになった方々にこだわりの静岡産お茶を振舞い、集まった方々同志がよもやま話に花を咲かせます。人と情報の交流する縁台スペースにまずはお出かけください。

親子俳句縁台 3月29日(土)午後1時ー午後3時30分頃

赤坂の町を住民の方達と歩きます。そこから親子でいっしょに俳句をつくってみましょう。「俳句って難しそう」と思いがちですが、意外や意外、3人寄れば文殊の知恵といった発想で楽しく俳句がつけられます。

講師：菊田一平（「農」「菟」同人） 集合場所：赤坂縁台
参加費：無料 定員：親子、祖父母&孫組が数組(申し込み順)
申込み：090-2430-8151 (小山直行)
(*つくった俳句は額に入れて赤坂縁台スペースの壁に展示されます)



縁台制作 アーティスト：鈴木 雄介

1983年生まれ。2007年千葉工業大学大学院修士課程修了。都市空間における「場の転換」を軸に制作活動を行う建築家。建築の設計をはじめ、建築的な思考の延長として、空間インスタレーション、プロダクトデザイン、アーティストとの協同制作などに取り組んでいる。主な活動に「Working Shed」、「井野田地足湯プロジェクト」、「川保正・東京インプログレス」などがある。

*このような人と人が出会う場としての縁台に関心がある方はクリエイティブ・アート実行委員会にご連絡ください。

建築ツアー

港区に残された貴重な歴史的建造物を訪ねます。今年は芝、虎の門、新橋にフォーカスしていきます。

3月15日(土) 午前10時ー正午

コース：聖オルバン教会（アントニン・レーモンドの洋風木造建築）、慈恵医大（昭和初期の医科大建築）、愛宕山隧道&愛宕山西参道（アールデコ意匠）、日本基督教団芝教会（ステンドグラス）

定員：20名 参加費：500円（資料代）

解説：川上悠介（港区立港郷土資料館学芸員）

申込み：E-mail、もしくはハガキで3月5日までに申し込みください。抽選の結果はE-mailでの返信、もしくはハガキの返信をもって代わりとさせていただきます。



トーク&ディスカッション

会場：東海大学高輪キャンパス2号館2階2201教室
参加費：入場料に含まれる（お申し込みの必要はありません）

ディスカッション「景観を生かす町づくりとは？」

3月22日(土) 午後3時ー午後5時

都心である港区は絶えず、新しい都市開発や新築マンション等の建設が途絶えることがなく、活気に満ちています。いっぽう、ある日、人々に親しまれていた建物が姿を消しており、愕然とすることも少なくありません。歴史的建造物と言われないまでも風情のある建物がなくなったり、樹木が伐採されたり、あるいは町の雰囲気に合わないビルが突然現れてくることは仕方のないことなのでしょうか？ このディスカッションは人々にとって文化的資源である町の景観をどのように、私達がつくっていく事ができるのかをみなさんと共に考えていきます。

パネリスト：

安藤洋一（株式会社都市環境計画研究所取締役
港区まち創りルール認定審査委員）

片桐義雄（高輪共和会町会長）

椎原晶子（NPO法人たいとう歴史都市研究会副理事長）

松本勝美（港区まち創り研究会代表幹事

芝一丁目まちづくりの会）

コメンテーター：

連健夫（日本建築家協会港地域会幹事、連健夫建築研究室）

トーク「家を語る—旧朝吹常吉邸」

3月23日(日) 午後2時ー午後4時頃

高輪・桂坂を特徴づける旧朝吹常吉邸（東芝山口記念会館）はウィリアム・メレル・ヴォーリス設計により大正14年に建てられた西洋館です。建築については崔康勲氏と米山勇氏に、また、そこで家族の人々がどのように生活しておられたのかについては、朝吹正行氏に語って頂きます。

崔康勲（建築論研究者）

米山勇（建築史家、東京都江戸東京博物館研究員）

朝吹正行（建築家、弦楽器製作者）



トーク「町を語る—明治、大正、昭和—国際結婚をした女性達」

3月25日(火) 午後2時ー午後3時30分

明治以降、大使館等が多かった港区は外国人も多く居住していました。そんな環境の中、国際結婚をした女性達とそのゆかりの場所について、郷土史家の清田和美さんに語って頂きます。取り上げる女性達は日本女性初の油絵画家となった清原玉（ラグーサお玉）、お招き建築家ジョサイア・コンドルの妻となった舞踊家、前波くめ、建築家W.M.ヴォーリスと結婚した一柳満喜子、ライシャワー大使夫人となった松方ハルなど。また、地元でゆかりのある方々にもご出席頂きます。

清田和美（郷土史家）

問合せ先：クリエイティブ・アート実行委員会

〒107-0062 東京都港区南青山4-6-10-101

TEL: 03-3479-8535 FAX: 03-3402-5438

e-mail: MuseKK@aol.com

URL: http://www.musekk.co.jp

Facebook: https://www.facebook.com/artmusekk